

おいしく、
ひといき。

食べる、楽しむ、人いきいき。

いちき串木野市
食のまちづくり基本計画
第2期

アニュアルレポート
2024

いちき串木野市は平成21年に食のまちづくり条例を制定し、平成23年には10年間で第1期計画期間とする「いちき串木野市食のまちづくり基本計画」を定め、官民協働による食のまちづくりに取組んできた。第2期の策定にあたっては、社会情勢を踏まえながら、第1期計画に対する課題の整理・検討を行ったうえで、ビジョンを明確化し、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で主体的に取組める施策を検討。市民一人ひとりが主役になれる「食のまち」、地域の取組がシティプロモーションに繋がる「食のまち」、未来を担う子どもたちがまちに愛着と誇りを持てる「食のまち」、を目指し、持続可能な食のまちづくりの実現に向けて取組を進めている。

計画の期間

令和5年2月（令和4年度）から令和9年3月（令和8年度）までの5年間とする。



計画の基本姿勢

基本計画策定・事業実施するにあたり、関係者が高い目的意識とモチベーションで携われるよう、基本計画のビジョン（目標）、ミッション（動機）、バリュー（行動指針）を定めている。

ビジョン(目標)

食を通して、経済の活性化と健康増進を進め、シビックプライドが高いまちを目指します

ミッション(動機)

いちき串木野市の食から活動を生み出し、市民の幸せと地元への愛着につなげる

バリュー(行動指針)

- ・活動をしっかり伝え、当事者意識を高める
- ・楽しいことや新しいことに挑戦する
- ・大事なことを絞り込み、ぶれずに進める

食のまちづくり基本計画(第2期)はこちらからご覧いただけます



本年度は、前年度の協議内容を踏まえ、各事業を具体的に展開した。パートナーシップ会議では、情報発信や地域を巻き込む企画をテーマとした勉強会を実施。参加者からの意見も反映しながら、事業の実効性を高めた。

また、こうした取り組みがメディアに取り上げられるなど、外部のリアクションもいくつか見られた。

分野：地域経済の活性化

1. 学校給食での地元食材の利用促進

担当：農政課、学校給食センター

市内の学校給食の地産地消率の向上を目指し、地域の生産者、市役所担当課等と連携した仕入れや補助制度の導入、期間限定の地元食材の利用など利用促進に向けた組織体制などを関係各所と検討していく。

① 学校給食への地元食材の活用推進

地元野菜・果物の使用率 令和6年度 11.7% (令和5年度 4.8%)

- ・市内農家との納入調整を行い、地元食材のスポット利用を促進
- ・市来農芸高校と連携し、学校教育の一環で食材の生産・納入に着手
- ・地元産米の通年使用
- ・市内農家との交流（出前授業）

② 地元産、県内産の食材を活用した献立の充実

- ・「鹿児島をまるごと味わう学校給食」等における地元食材メニューの提供



市来農芸高校との取り組みの様子 と 実際に提供された給食

2. 市民への地元食材の利用促進

担当：シティセールス課、農政課、子どもみらい課

スーパーや直売所など、市民が日常的に買い物を行う場所で、ポスターやポップなどを活用した地元食材の利用を促すPRを行い、地元食材の利用意識を高める。

① いちき串木野市産味平かぼちゃのペーストの活用促進

- ・関係各所協力のもと、ペーストの販売を実施
 - ▶ 市内外の菓子店や飲食店で商品展開された
- ・市内2箇所の子育て支援センターで活用
 - ▶ 食のまち料理教室などでお菓子や料理に使用

4. 付加価値向上、販路開拓（海外、EC、新規出店）等の支援

担当：水産商工課、シティセールス課

地域内事業者の売上の増加を目指し、ECサイトの利用や海外への販路開拓、新規出店などの支援を行う。既存の商品に対する付加価値向上なども促す。

活動実績

- ① 飲食店新規出店促進事業補助金（実績：3件）
- ② ECサイト「かごしまぐるり」と連携したPR・販売戦略
- ③ 6次産業化の取組支援（実績：4件）



かごしまぐるり

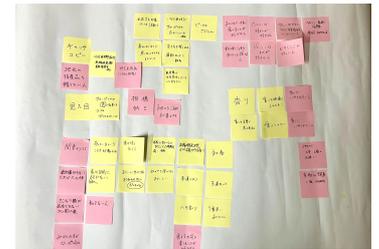
5. 地元食材のブランディング

担当：農政課、シティセールス課

サワーポメロをはじめとした地元食材のブランディングを行う。ブランド認定や品評会の開催など、地元食材の品質向上、信頼性の確保に向けて実施。ブランド認知のための広報PRや生産者のトークイベント等も実施する。

活動実績

- ① サワーポメロブランディング検討会を実施（2回）
 - ・生産者、農協、百貨店バイヤー、フードコーディネーター、菓子製造業者などが参加してブランディングについて意見交換
 - ▶ サワーポメロの可能性やブランディングに向けた課題などを協議



ブランディング検討会の様子

分野：食育・健康増進の推進

7. 高校連携プログラム

担当：シティセールス課、水産商工課

市内の高校と商品開発等の体験学習プログラムを実施。高校生との食関連プロジェクトを取りまとめて周知する。

活動実績

- ① 市内3高等学校との連携体制づくり
「食のまち」に関する出前授業などを実施。
- ② 各高等学校の個別プロジェクト支援
 - 市来農芸高校・・・学校給食に関する事業連携と情報発信事業での取材
 - 神村学園・・・情報発信事業での取材と連携協議
 - 串木野高校・・・串木野学での出前授業と連携協議
- ③ 市内イベント(産業まつりなど)における事業者との連携支援



各学校との連携の様子

8. 食の職育プログラム

担当：学校教育課、社会教育課、水産商工課、シティセールス課

学校現場において食に関する市内の職業を周知。子どもハローワーク事業などとの連携も行い、将来の職業選択の候補として食に関する職業を伝え、キャリア教育と結びつけながら、地域内事業者への就業にもつなげる。

活動実績

- ① 未来に乾杯！十代からの本格焼酎体験事業の実施
- ② ふるさとゼミナールの企画（サワーポメロの収穫体験 → 中止）
- ③ 生涯学習講座の実施（料理 10回／お菓子 10回／コーヒー 8回）
- ④ まぐろ普及出前授業 10校

9. 健康増進に向けた普及啓発

担当：健康増進課、子どもみらい課

生活習慣病予防、減塩対策、肥満対策等の普及啓発を行う。EAT de 健康メニューの周知やポップの掲示、生涯学習講座との連携などを実施し、市民の健康的な生活につなげる。子どもへの食事に関する情報なども広報誌や子育て応援ナビ、母子健康手帳などを通して周知する。

活動実績

- ① EAT de 健康メニューのリニューアルを実施
 - ・参加店舗、メニューを更新
 - ・パンフレット、ポスター等を作成
- ② 健康にまつわる情報発信（市広報等）
- ③ SNS(Instagram等)での情報発信



子どもみらい課
Instagram

分野：情報の共有と発信

10. 食のまちのイメージ共有

担当：シティセールス課、企画政策課

「食のまち」を伝えるためのイメージ動画、シンボルマークやキャッチコピーを作成し、周知。イメージ動画では、マグロ漁業、果樹栽培、焼酎製造、水産加工などの産業認知などにつなげる。

活動実績

- ① 食をテーマとしたPR動画の制作
 - ▶ テーマ：まぐろ／コーヒー／ご当地グルメ／沿岸漁業
 - ▶ 市の公式LINEやECサイト等で発信
- ② キャッチコピー「おいしく、ひといき。」のPRツール活用
 - ▶ のぼり旗、タペストリーなど



市公式YouTube
チャンネル

11. 食の楽しみ方開発と定期的な情報発信

担当：シティセールス課、企画政策課

食に関する地域の取組や地元の食の魅力を掘り起こし、本市の食を楽しむコンテンツも開発して発信する媒体を作成。地元の食と良いロケーション、それに深く関わる人などをつなげて発信することで、食材と場所の認知につなげていく。

活動実績

- ① 本市の食をテーマとしたWEB記事(note)作成
 - ・年度内に12本の取材記事を作成
 - ▶ 基本計画で実施する事業を中心に取材を実施
 - ・広報誌とも連携して発信
- ② 新たに開設した移住サイトと連動したSNSでの情報発信



公式note

3

計画に関するアンケートの実施

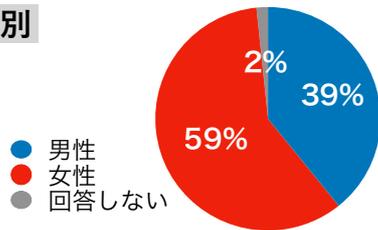
参考指標

アンケートやヒアリング調査等によって、本市の食のまちづくりに関して市民がどのように感じているかを捉える。本年度は公式LINEでのアンケートを実施し、現時点での市民の意識を調査した。

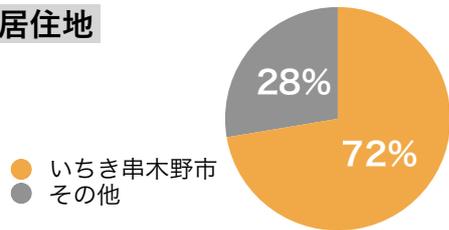
調査期間 : 令和7年2月20日(木) ~ 3月5日(水)
 総回答数 : 546件 (前年比 -59.6%)

あなたの属性を教えてください。

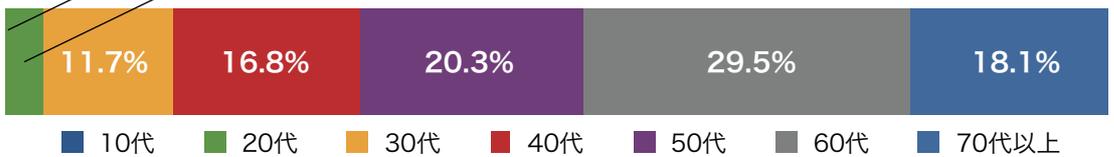
性別



居住地

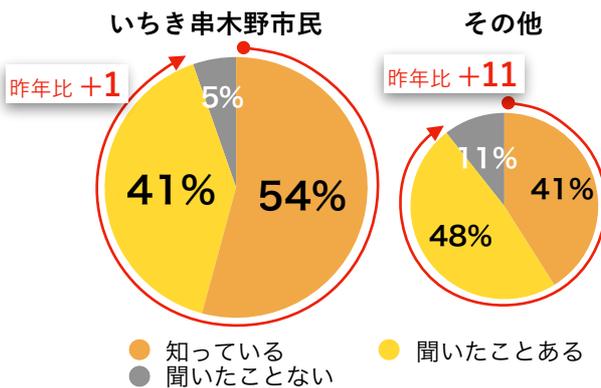


年代

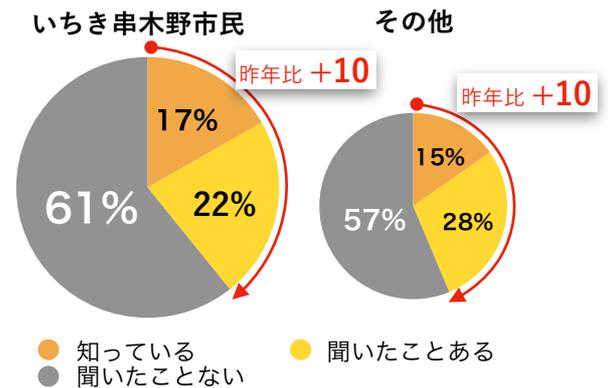


いちき串木野市で実施されている「食のまち」についてお聞かせください。

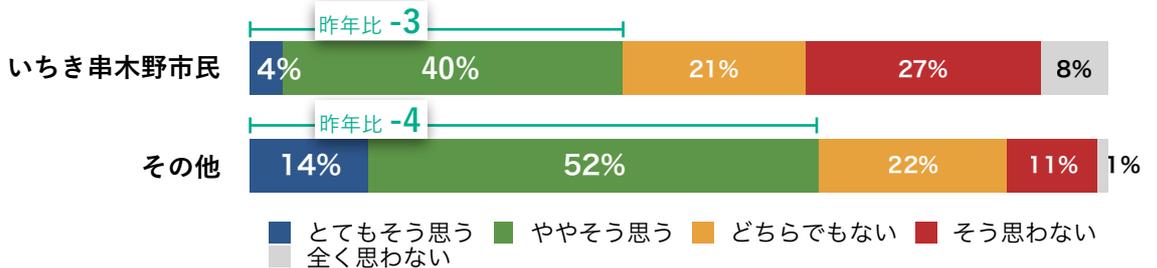
「食のまち」の取り組みを知っていますか？



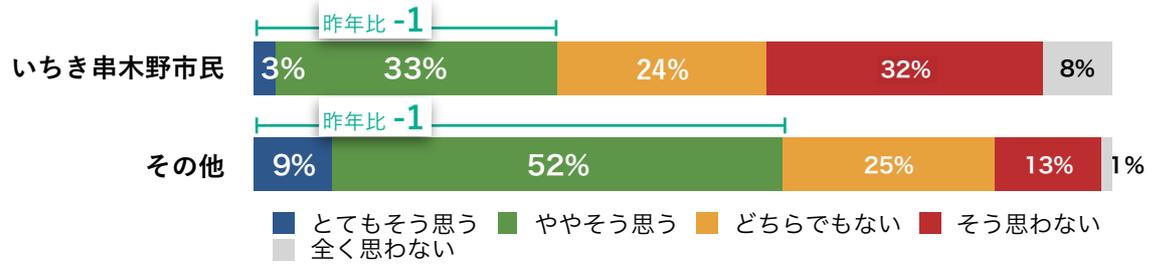
「おいしく、ひといき。」を知っていますか？



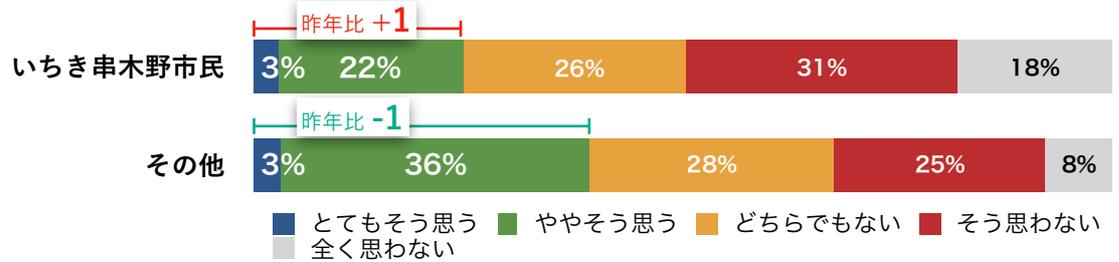
いちき串木野市は「食」をテーマににぎわっており、活性化していると感じますか？



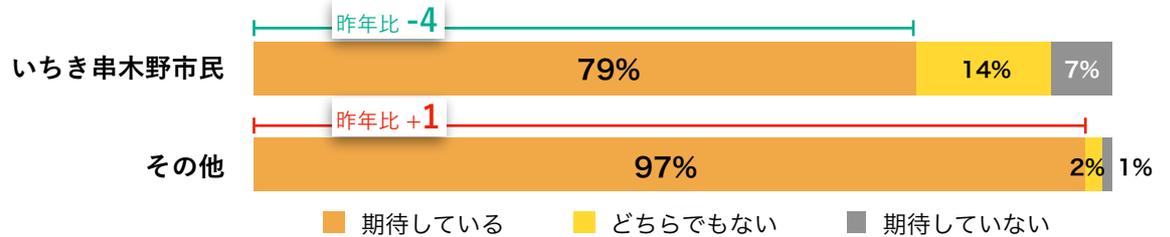
いちき串木野市は「食」をテーマに商業が活性化していると感じますか？



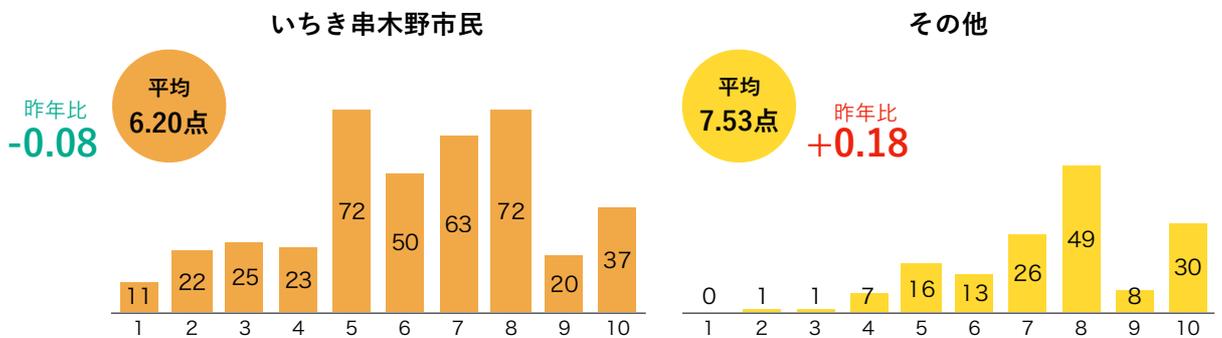
「食のまち」に自分も関わっていると思いますか？



今後の「食のまち」の取り組みに期待しますか？

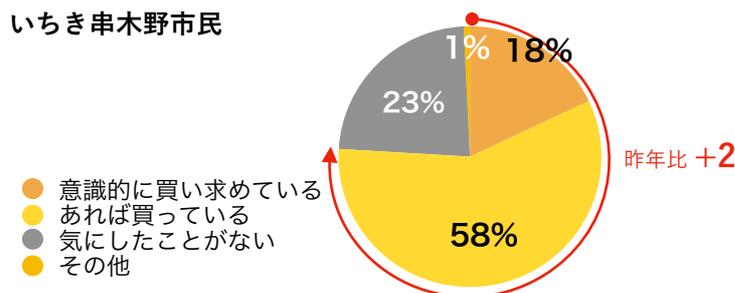


あなた自身、どれくらいいちき串木野の「食」のファンですか？（10点満点中）

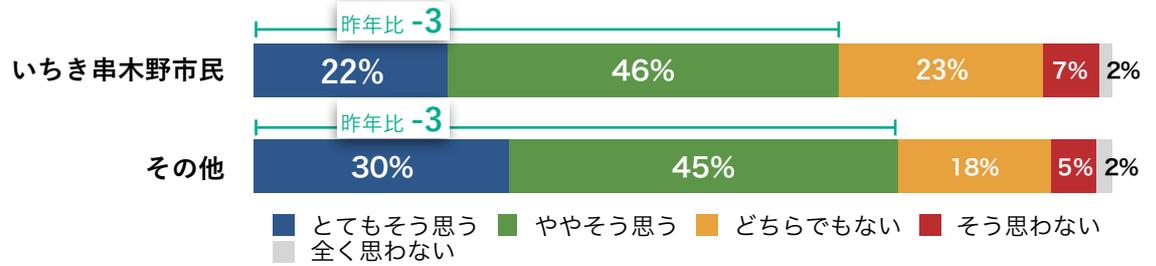


あなたの「食」に関する意識についてお聞かせください。

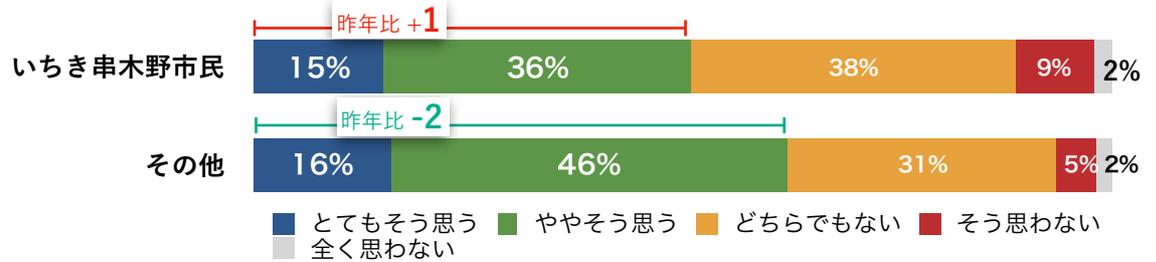
買い物をする時、いちき串木野産の食材を意識して買っていますか？



「食」を通じた健康づくりを意識していますか？

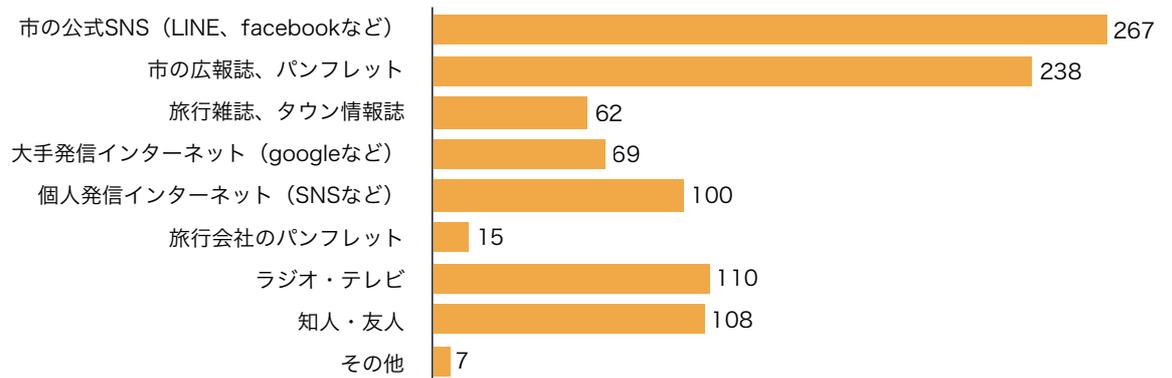


「食」に関する職業に関心がありますか？

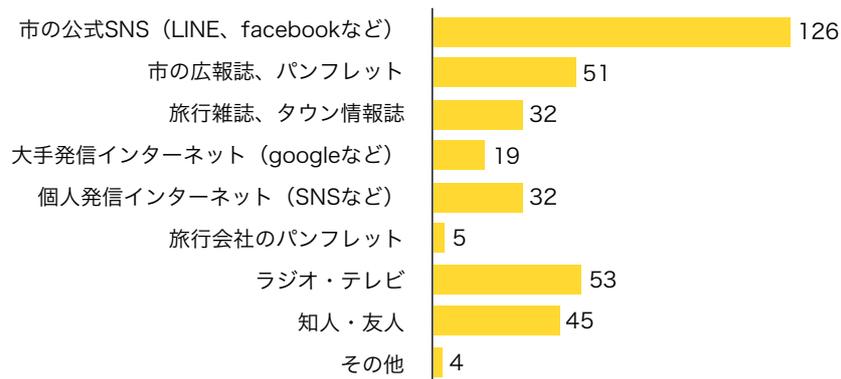


いちき串木野市の「食」に関する情報を収集する際、何が役に立ちますか？（複数回答・可）

いちき串木野市民



その他



基本計画を推進するにあたっては、多くの事業で複数の部署との協力・連携が必要となってくる。また、市、市民、事業者が連携する事業も存在し、官民が連携しなければ実現できないものも含まれる。そこで、部署横断、官民連携を調整する「パートナーシップ会議」や「庁内会議（タスクフォース）」などを設置し、予算化に向けた意見交換や工程共有、勉強会などを行うこととする。

パートナーシップ会議の実施

活動実績

- ① 市、市民、事業者が一堂に会して4回のパートナーシップ会議を実施
- 1回目：令和6年6月3日 年度内事業の方向性を提示
 - 2回目：令和6年10月2日 事業の進捗確認と勉強会（情報発信）
 - 3回目：令和7年1月23日 勉強会（地域を巻き込む食の企画）
 - 4回目：令和7年3月28日 事業実施報告
- ▶ 各回で参加者間の意見交換も実施

食のまちPRパートナー

食のまちPRパートナーとは、本市の「食」や「食によるまちづくり」に関心がある方で、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進していく市民、事業者のこと。個人でも団体でも登録が可能。現在**48**の個人と団体が登録している。（令和7年3月26日時点）

<登録者（団体）>

池之上果樹園／イシマル食品(有)／いちき串木野市観光特産品協会／いちき串木野商工会議所／いちき串木野商工会議所青年部／市来商工会／市来農芸高校／稲葉 豊実／えびす市場／(株)オービジョン／NPO鹿児島いちき串木野観光物産センター／(有)菓子処 菊屋／加世田 俊子／瀧永 朋弘／神村学園高等部調理科／川崎 幹也／キッチンいまり／串木野高等学校／串木野市漁業協同組合／桑木 米美／ケントコーヒー／後藤 香音／五嶋農場／小林 史和／崎野 純子／塩田 亜耶子／旬彩とど家／白橋 大信／白浜温泉／新洋水産(有)／ダブルビーゼット(株)／(株)D-innovation／冨永 裕介／中原 昭雄／永原 真一／西果樹園／(有)浜崎蒲鉾店／濱田酒造株式会社／PARCA合同会社／フェザープリンセス／吹上浜フィールドホテル／ホテルアクシア くしきの／森の蔵農園／やさい工房彩菜／山田 優子／吉村醸造株式会社／合同会社Le Ciel Fusee／和田 雅子（五十音順）



いちき串木野市 食のまちづくり基本計画 第2期
アニュアルレポート 2024
発行：令和7年3月